

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ボビー学が丘			
○保護者評価実施期間	R6年 12月 1日 ~ R6年 12月 25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	R6年 12月 1日 ~ R6年 12月 25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月25日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団活動	・目的を考えた内容作り 職員全員でローテーションで活動内容を考えている。	・苦手分野の習得・向上に向けての内容作り
2	利用者・保護者が安心して通える（通わせられる）こと	・楽しく過ごせる空間づくり ・職員とのコミュニケーションを大事にしている	・保護者・利用者共に信頼関係を築いていくコミュニケーションづくりをしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	協議会の参加ができていない	・日々の業務に追われ、参加する時間をとれていない。	・業務の分担を工夫するなど少しづつ参加できるようにしていく。
2	地域交流ができていない	・日々の業務に追われ、参加する時間をとれていない。 ・様々な感染症を懸念していた為。	・地域交流ができていない分、学校との密な情報共有を引き続き深めていく。
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ボビー学が丘	公表日	R7年3月31日					
		利用児童数	19					回収数 15
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1				限られた空間の中で個別や集団活動がのびのびと出来る様に工夫していく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		1		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1		1		視覚支援を取り入れながら情報伝達に配慮した環境を作っていく。現状ではバリアフリー化ではないが、今後児童の様子を見ながら必要に応じて手すりやスロープの設置を検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1		1		限られた空間の中で子ども達の活動に合わせ、プログラム作りを行っていく。今後も心地よく過ごせる環境作りを行っていく。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15				いつも工夫されたプログラムのアイデアに感心しています。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4		5	6		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	1	4		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	15					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15				いつも寄り添ってもらっています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1	6	3		保護者様の意見交換や交流の場として保護者会が開催できるように感染予防対策などを話し合っていく。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15					

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1		1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	1			大切な居場所です。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	1			・とても楽しみにしています。 ・とても楽しみにしており、本人の居場所として大切な場所です。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				・とても満足しています。 ・親子ともに安心できる場所であり支援をして頂いて感謝しています。	

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ボビー学が丘				
		公表日 R7年3月31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		指定基準に基づき指導訓練室等のスペースを確保している。	利用者の成長によっては狭さを感じる場面がある。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	指定基準に基づき職員の配置をしている。	職員の人数配置は適切だが余裕のある職員体制とはいえない
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		視覚的には、情報が得られやすくなるように絵や説明を揭示している。	バリアフリー化になっていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		日々の活動の中や清掃の際に塩素系消毒液を用いて室内、おもちゃ、療育道具や家具等の衛生管理や室温・湿度の管理も行っている。又、光触媒の施工も行いました。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		パーティションなどを利用し1人の落ち着ける空間作りも行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		定期的に事業所内会議を行い、情報共有と改善に取り組んでいる。又、会議録にも残していくつでも見返しができる様にしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		1ヶ月に1回会議を行い共有している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		実施できていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	社外研修に参加し、情報伝達して職員間での内容確認や虐待等の社内研修を行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		実施している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		保護者様との面談を基に職員間で話し合い、児童発達支援計画を作成し定期的なモニタリングを行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		実施している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		保護者様と面談および支援計画書の作成時に職員に対し内容伝達を行い、支援の実施を行っている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		日々、個別の記録を作成し問題点などは次回に備えて改善策を話し合い、朝礼・昼礼・職員会議等で相談・伝達を実施している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		実施している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		目的を設定して活動プログラムの立案を立てている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		1週間ごとにローテーションで全職員で考えている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		実施している。	

	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼・昼礼時の情報伝達を口頭で説明すると共に書面での記載を行い、情報の漏れを減らす事ができる様に取り組んでいる。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		終業前に職員間で情報共有を行い、翌営業日の朝礼・昼礼にて伝達を行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々、個別の記録を作成し問題点などは次回に備えて改善策を話し合い、朝礼・昼礼・職員会議等で相談・伝達を実施している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		モニタリングは定期的に実施し、保護者様の要望に応じ、計画の見直し・継続をできる様に取り組んでいる。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		実施している。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	実施している。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		実施している。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		当事業所は該当しない。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		密に実施している。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	実施している。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		実施している。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	活動時のリスク管理などの観点および、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、現在実施していない。	
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		実施できていない。
	34 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	2	送迎時の報告を用いて共通理解が図れるように対応している。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		支援計画作成における面談時に保護者様に相談・提案を行っている。	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		連絡ノートへの支援内容・様子の記載や送迎時に保護者様への報告を行っている。利用者負担等については契約時の説明と契約書への記載を行い、変更・訂正を必要とする際には適切に説明を行っている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	実施している。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		実施している。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		連絡ノート・送迎時の報告内での相談に加え、事業所内相談支援を設け、対応できる様に取り組んでいる。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	年に一度、保護者様参加型の懇親会を開催していたが、今年度はインフルエンザの拡大、コロナウイルス感染予防の為に懇親会を行っていない。	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情や事故等に迅速に対応できるように努めており、保護者様への周知と社内での情報共有に取り組んでいる。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	連絡ノートに加え、毎月発行のお知らせを行い、療育内容や予定を把握しやすい様にしている。	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		職員全体に個人情報を適切に取り扱う事が出来るように指導している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	当事業所を利用されているご家族以外の招待は行っていないが、今年度はコロナウイルス感染予防の為にご家族様の招待も行っていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		社内にてマニュアルの準備・確認・研修の実施、保護者様に対して緊急時などの対応の事前説明・書類の配布を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		春・夏・冬の年3回、長期休暇に避難訓練を実施している。実施した際は送迎時に保護者様に報告している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2		対象者がいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	災害時の訓練などを行い、子供の安全が確保できるよう職員間の役割に気を付けている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットの発見があった場合、書類への記載を行い、情報の蓄積が行えるように徹底している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行つかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1		記載しているかわからない。